

平成23年度個別施策ヒアリング資料(優先度判定)【農林水産省】

施策番号	26107	施策名		イノベーション創出基礎的研究推進事業			
新規／継続	継続	領域	豊かな国民生活基盤	国際的位置付け	上位	AP施策	
競争的資金	○	e-Rad	○	社会還元			
施策の目的及び概要	・農林水産政策における様々な課題の解決に資するイノベーションの創出を目指した基礎的な研究及び応用研究を推進。						
達成目標及び達成期限	・本事業は、多様な分野における基礎的な研究を継続的に推進する競争的資金であり、事業全体の達成目標や達成期限を予め設定することは困難。個々の研究課題の達成目標及び達成期限については、採択時に設定される。						
研究開発目標及び達成期限	・本事業は、多様な分野における基礎的な研究を継続的に推進する競争的資金であり、研究開発目標や達成期限を予め設定することは困難。個々の研究課題の研究開発目標及び達成期限については、採択時に設定される。						
23年度の研究開発目標	・本事業は、多様な分野における基礎的な研究を継続的に推進する競争的資金であり、事業全体の単年度の研究開発目標を予め設定することは困難。個々の研究課題の研究開発目標については、採択時に設定される。						
施策の重要性	・農林水産政策における様々な課題に技術面から対応するためには、産学官の研究者の能力を活用しつつ、革新的な技術シーズを生み出すとともに、生み出された技術シーズを実用技術の開発に向けて発展させることが重要。						
実施体制	・独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構において、提案公募を行い、外部専門家による審査を経て委託先を決定。委託課題については、プログラムオフィサーにより進行管理が行われている。 また、すべての委託課題について、外部専門家による単年度評価、中間評価及び終了時評価を実施。						
H22予算額(百万円)				H23概算要求額(百万円)			
5,994				5,627			
独立行政法人名(運営費交付金施策のみ)				NARO			
H23概算要求額の内訳	イノベーション創出基礎的研究推進事業:5,627 ①新規課題:770 ア技術シーズ開発型【一般枠】 1課題当たりの金額:70 ・うち間接経費:16 採択予定課題数:7 イ技術シーズ開発型【若手育成枠】 1課題当たりの金額:30 ・うち間接経費:7 採択予定課題数:3 ウ発展型【一般枠】 1課題当たりの金額:60 ・うち間接経費:13 採択予定課題数:3 エ発展型【ベンチャー育成枠FI】 1課題当たりの金額:5 採択予定課題数:2 ②継続課題:4,857 1課題当たりの金額:52 ・うち間接経費:12						

採択予定課題数:94			
期間	H20～	資金投入規模(億円)	
これまでの成果 (継続のみ)	・平成20年度から開始された事業であり、研究期間が3～5年であるため、現在までに終了した課題はない。平成22年度末に19課題が終了する予定。		
社会情勢・技術の変化 (継続のみ)	・地球環境問題、農山漁村の6次産業化や家畜衛生上の諸課題(BSE、鳥インフル、口蹄疫等)など技術面からの対応を強く求められる課題が山積していることから、革新的な技術シーズを生み出し、イノベーションを創出することを目的としている本事業の重要性は増加していると考ええる。		
昨年度優先度判定 (継続のみ)	着実	優先度判定時の指摘への対応(継続のみ)	・選考・評価委員会における産業界からの委員を1名から3名に増員。 ・委託先における知財管理の体制などを応募書類に記載させるとともに、採択審査における評価項目の中に関連する項目を追加。 ・国際的な課題に係る研究分野において、国際共同研究を行う課題を優良採択。また、全ての研究分野において、国際共同研究を行う場合の委託費を1,000万円引き上げ。 ・外部委員のみで構成される選定会議において、選考・評価委員を選定。 ・公募開始時期を早期化。
国民との科学・技術対話推進への対応(対象施策のみ)	平成23年度の公募より、アウトリーチ活動の実施を評価項目として加える予定		